広報 たかもり

発行　阿蘇郡高森町役場　TEL（高森局09676）②0611〔代表〕

人口

―9月30日現在―

9,831人　男…4,777人　女…5,054人

世帯数……2,639

転入 29　出生 12

転出 21　死亡 5

第207号
昭和51年
11月1日

秋深まる南郷

抜けるように高い青空。ヒャッとした風が肌をなで、しみじみと〝秋〟を感じさせるこのごろです。黄金の穂波を打つ田んぼでは、軽快なエンジンがうなり、原野では一家総出の刈り干し作業が続きます。外輪の紅葉もいまがたけなわ。農家の取り入れが終わると、やがて南郷に厳しい冬がやってきます。

おもな内容

□ 50年度町財政の決算報告……(2)～(3)
□ 地域にとけ込む青年団活動……(4)
□ 農業者年金加入のすすめ……(5)
□ 日中友好「九州青年の船」に参加して……(6)
□ 高森の歴史散歩・郷土の博物誌……(7)
□ みんなの広場・学校短信……(9)
□ 町民文芸・おめでた・おくやみ……(10)

日曜休診

11月14日	藤本医院	中松⑦0020
11月21日	後藤医院	下田⑦0019
11月28日	平田医院	旭通②0216
12月5日	馬原医院	上町②0646

診療は午前9時から午後5時まで

町民文芸

肥後狂句

一張羅　雨建の汗しみこませ　岡本　琴司
日曜大工　高うついとる按摩代　〃　林田　一声
重さ　郵便局じゃ送られん　〃　浦塚　南天
一張羅　樟脳臭ァ里帰り　〃　馬原　馬笑
日の暮れて　撒き餅と粘る電気ウキ　〃　林　不忘
一張羅　誰でん柄（がら）憶えられ　〃　田上黙公子
風涼し　嫣長袖は何処ェ有るか　〃　林田　瑤子
重さ　さすが家宝の碁盤ばい　〃
日の暮れて　仔牛尋ぬる牛の声
重さ　姑が加える里土産
一張羅　苦難のシワの残っとる
日の暮れて　読書もせんで悩む秋
重さ　欲が堀らせたアサリ貝
日の暮れて　ベンチが恋の船渡し

俳句

摘み寄せて千草分け合う展望所　内田あや女
身ほとりに書も針箱も秋灯下　〃
秋草や工事中止の飯場跡　松岡のぶ子
続けさま落つ音のなか栗拾う　〃
ふれて見るすみれ一輪帰り花　那須きぬ子
秋草を問いつ問はれつ山の径　〃
阿蘇の嶮かげれば寒し蕎麦の花　桐原　寿
黄の蝶の吹き返さるる秋の風　〃
鯉はねて秋水太き輪をひろげ　林　久恵
干し終えて仰ぐ外輪淡紅葉　〃
うけ答え短かき父子松手入　古庄　泰子
遠来の客を招じて紅葉句座　〃
指の傷いたわる日々や柿をむく　古庄　泰子
はるばると訪い来し木曽路秋時雨　柴田ふい子
さわやかに読経響く大伽藍　〃
旅発ちの近きしず解く初袷　平田るり子
小鳥群れついばむ木の実まだ青く　〃
鵙高音つぎつぎにある厨ごと　岩下　扶美
さわやかに宿舎オープン知事迎え　〃
秋雲の影置く根子を真向いに　山村ふみ子

雑詠

国民休暇村に思う

上色見　後藤嘉平（86）

○ながらへて国民休暇の村に会う
神の恵みぞありがたきかな
○世の中は過去現在と未来なり
われ現在の生を喜ぶ

楽天

下町向上会の慰問受けて

湯の里荘　今村美園（67）

○高森の若き慰問の人等来ぬ
「お産の声」の仁輪加はなやぐ
○三味線のばちのさばきもおさな
かり　炭抗節弾く中学女生徒
○まごころの慰問の菓子と寿司の
味　舌に残して熱き茶を飲む

敬老会に思う

社倉　今泉多美江（83）

今日敬老会、台風も祝すか天気快晴。会場へ登る坂道、心も明るく集う老人皆ににこにこ童顔童心。歌舞音曲めぐる盃厚きもてなし
うれしき幼児の十を数える肩たたき　愛としき顔　喜久子の幼き日を思う　肩のこりも取れ　命もシワも伸びた心地　ああ有難き御世

敬老会
○敬老の名に恥しき身のほどを
盃を手におもう今日かな

おめでた　おくやみ

出生

S51.9.16～10.15現在

(住所)	(保護者)	(出生児)	(性別)	(生年月日)
横町	岩本　隆	倫	男	51.9.6
昭和	奥村　政次	京子	女	51.9.8
横町	東　裕	祐介	男	51.9.7
西丁	宇藤　信幸	知夏	女	51.9.17
天神	赤木　和夫	優子	女	51.9 28
山鳥	岩下　清	孝造	男	51.9.26
天神	高田　幸生	英典	男	51.9.15
芹口	工藤　清男	智宏	男	51.10.3
津留	吉川　洋一	悠紀	女	51.9.15

死亡

(住所)	(遺族)	(続柄)	(死亡者)	(年齢)	(死亡年月日)
昭和	奥村　政次	妻	奥村　信子	24	51.9.18
昭和	奥村　政次	3女	奥村　京子	0	51.9.18
横町	後藤　恒夫	母	後藤　フキ	68	51.9.18
津留	津留　大蔵	母	津留イツエ	69	51.10.12
津留	原田　健正	母	原田キミエ	89	51.10.9

ご寄付

ありがとうございました

高森町社会福祉協議会に対して次の方々から温かいご寄付をいただきました。

△香典返し▽

▽高森横町の後藤恒夫さんから（母、フキさん・68歳死去）

▽高森昭和の奥村政治さんから（妻、信子さん・24歳死去）

△一般寄付▽

▽横須賀市日産工場勤務の尾下出身、甲斐国次さんから

▽野尻地区のバンド「ロアリングサウンズ」から

50年度 町財政の決算報告

五十年度の一般会計ほか五特別会計についての決算が九月定例町議会で認定されました。そこで、みなさんが納めた税金や、国からいただいた地方交付税などがどのくらい入り、またどのように使われたかという町の台所のゆくえを、みなさんに図表でお知らせします。町の財政がどのようになっているか考えてみましょう。

一般会計は歳入総額十四億二千九百万円に対し、歳出総額十三億四千七百九十二万円で、差し引き八千百七万円の繰越しとなりました。

一般会計	歳入	歳出
決算額	1,429,005,510	1,347,927,338
翌年度への繰越額		81,078,172
合計	1,429,005,510	1,429,005,510

特別会計	歳入	歳出	繰越金
国民健康保険	281,712,933	258,377,368	11,335,565
簡易水道	99,290,244	99,210,329	79,915
住宅改修資金貸付金	3,345,337	3,330,506	14,831
母子福祉資金貸付金	1,106,019	1,081,200	24,819
奨学資金貸付金	2,192,930	2,181,320	11,610

「農林」「福祉」重点に執行

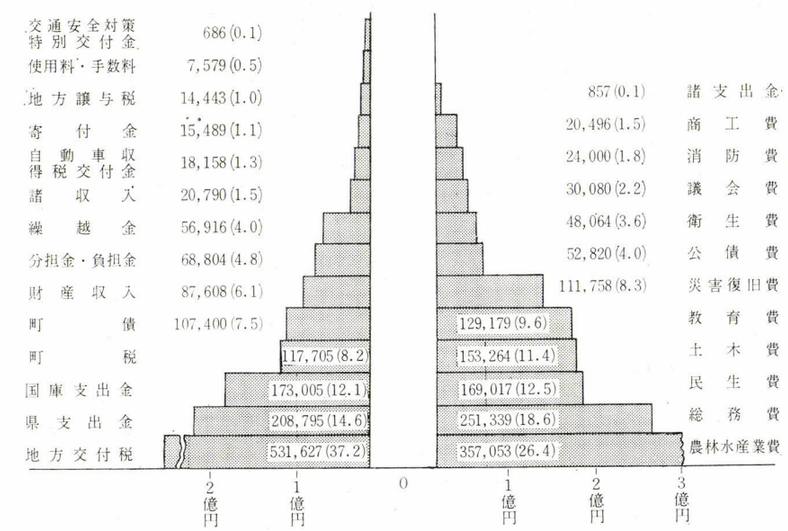
一般会計　自主財源はわずか7.9%

【歳入】　歳入の状況は第一表のとおりで、四十九年度に比べ一億六千五百三十九万円、一三・一％の増でした。これを性質別にみますと、第二表のとおりで、地方交付税など依存財源が七三・八％で四十九年度に比べ〇・六％の減。これに対し町税、財産収入など自主財源は一八・三％で、わずかながら〇・二％の伸びをみせています。しかし自主財源の貧弱さはいつものとおりで、町財政の台所の苦しさが伺えます。

【歳出】　歳出の状況は第一表のとおりで、四十九年度に比べ一億四千百二十三万円の増、一一・七％の伸びとなっています。

目的別に見ると、農林水産業費二六・四％をトップに総務費一八・六％、民生費一二・五％、土木費一一・四％と続き、全予算の六九％を占めています。また性質別では義務的経費(人件費、公債)、投資的経費とも昨年と同程度でした。五十年度の主な建設事業として草部保育所、基幹集落センター、町営住宅などがあります。

〔第1表〕



みんなの広場

「なわとび」
尾下小2年　たのうえみとか

贈答品は利用度を考えて

横町　森川末広(62)

濃いお茶と梅干一コ、これが私の一日のスタートです。茶わんを手に、ふと茶戸棚やタンス、床の間に目をやると、積み重ねられた箱ばかりが目立ちます。お中元、お歳暮、お年玉、快気祝い、祝儀の引出物などの贈り物で、たまればたまるものである。

試みに箱の中を分類すると、お茶わんセット、コーヒー茶わん、コップ、お盆、菓子器、洋間にしか合わぬ果物皿などで、同種のものもかなりあります。すでに老境に入った私たち夫婦は、補充の必要もなく、ただ大切にしまっているだけです。おそらく、こうした家庭は私宅だけではないでしょう。

そこで、贈る人は贈られる人のことを考えて、最も必要性のある消耗品を選ぶように心がけたらいかがでしょう。ただ型式として、なんでも贈れば義理がすむものではありません。

最近、また虚礼廃止が叫ばれていますが、早急な実現は難かしいと思います。どうしても贈る必要があるときは、すぐ役立つものを選び、ほんとうの真心と暖かみを伝えたいものです。

なお、眠った贈答品を有効に生かすため、交換、分譲、委託などの場が町内に出来ることを期待しています。

生きる道について

自己研修で尊い人生を

津留　馬原範三(73)

毎日の生活にきちんとけじめをつけながら、こつこつと倦まずたゆまず生きて行くのが人間としての生きる道である。

一、この世の中で一番みじめなことは、他人の生活をうらやむことである。

一、この世の中で一番みじめなことは、人間として教養のないことである。

他人の生活をやたらにうらやむべきではないが、このことはじっと内面に収めて、自己研修のかてとしたら、すばらしい結果が生まれるものである。例えば野菜農家の経営は、いま特に至難とされているが、人によっては見事に成功している。

成功するまでの数年間の苦しみ合理的経営などを考えないで「おれもひとつ野菜生産で、ひともうけしてやろう」と、なんらの心の準備もなしに、すぐに飛び込んだらみじめな結果を生むに相違ない。毎日の生活の中に、上だけをみつめないで、下を見、中道に生きるよう努めたい。

人間としての教養は一朝一夕に出来るものではないが、教養とは学歴と感違いしている人が多い。教養とは学歴と深い関係があると思うが、大学卒の必ずしも教養が高いとはいえない。中卒だけの教育を受けた人であっても、その人の多年の決意いかんと研修の積み重ねでは、大学卒以上の教養を高めることも可能である。

「教養とは何ぞや」一口には答えられないが、辞書には①教えそだてる②教育修養―とある。要は自己研修によって、自己を高めることである。

学校短信

【高森小】▽十月十六日にPTAと学校職員の研修旅行を行い、約八十名が参加。山鹿小を視察したあと、保養センターで懇親会を開きました。

【上色見小】▽十月十八日に交通教室を開きました。講話や映画のあと実習に移り、高森署員から歩道の歩き方、正しい自転車の乗り方など交通道徳を学びました。

【色見小】▽十一月の行事として八日＝児童の読書感想文発表会、九日＝PTA作業、十二日＝町内音楽祭の参加など決めています。

【野尻小】▽十一月十二日は本校で町内小中音楽会が開催されます。

【高森中】十一月の学校行事の主なものとして▽十一日＝健康診断▽十六日＝郡音楽会▽二十一日＝休暇村落成マラソン大会▽二十五日郡中体連駅伝大会▽二十六日＝郡音楽作曲コンクール。

【野尻中】十一月中の校内行事▽十日＝美化コンクール▽十五日＝学校安全の日▽二十四日＝生徒議会。

【草北中】▽十一月十三日は校内文化祭を予定しています。

原稿募集

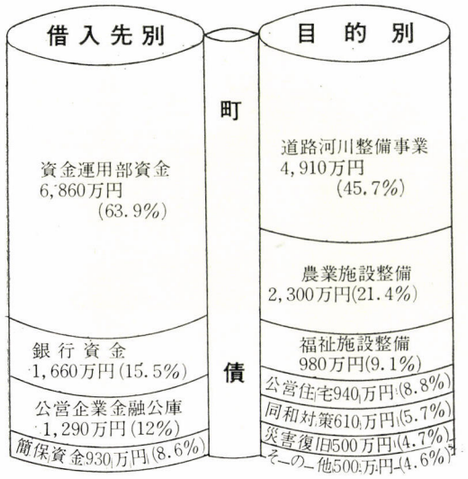
係では、みなさまの投稿をお待ちしております。次の要領で、ふるってご応募ください。

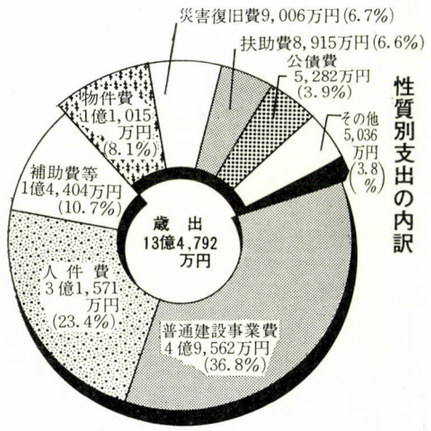
▽**あて先**　高森町役場「広報たかもり」係へ。

▽**テーマ**　題材は自由です。

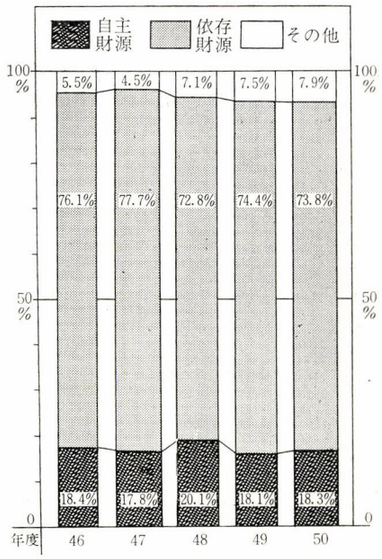
▽**原稿枚数**　四百字詰め原稿用紙で二枚以内。短くすることもあります。

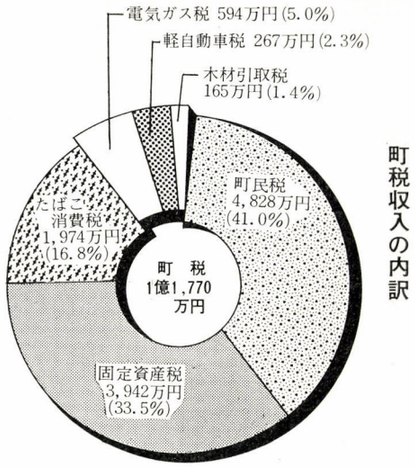
▽**記入事項**　住所、氏名、年齢、職業、匿名希望の場合はその旨を明記してください。なお投稿された原稿はお返ししません。





〔第2表〕一般会計性質別財源内訳





1世帯当たり

○町の借金	40,945円
○使われたお金	513,888円
○負担した税金	44,872円

ひとり当たり

○町の借金	10,862円
○使われたお金	136,333円
○負担した税金	11,904円

町有財産の状況

区分	面積
土地	**11,169,698㎡**
原野	5,733,900
山林	5,189,400
警察治安林	17,500
庁舎	3,459
行政機関	1,143
学校	149,903
公営住宅	30,585
公園	18,670
その他	25,138
建物	**27,581**
庁舎	1,623
行政機関	591
学校	18,286
公営住宅	6,002

区分	面積
公園	104㎡
その他	975

区分	所有高
物品	78台
自動車	11

区分	現在高
有価証券	**2,657,000**
株券	135,000
社債券	530,000
国債証券	1,992,000
権利	**2,390,000**
県信用保証協	1,400,000
農業信用 〃	990,000
基金	**3,568,000**

お知らせ

不慮の交通災害に見舞金制

町民の交通災害見舞金制度があるのをご存知でしょうか。

この制度は、みなさんが思わぬ交通事故でケガをしたときや、入院、または死亡した場合、見舞金がもらえるように町が掛金を負担して万一に備えているものです。

しかし、事故の報告が遅れると災害見舞金が出なくなる場合があります。交通事故で十日以上の災害を受けたときは、すぐ役場福祉係へ連絡してください。

52年度の青年海外協力隊員募る

青年海外協力隊では五十二年度の第一次派遣隊員を次の要領で募集しています。

【資格】満二十～三十五歳の男女

【業種および派遣国】農林水産、製造、保守操作、土木建築、保健福祉、事務文化、教育訓練などでアジア、アフリカ、中米など二十カ国

【派遣期間】二年間

【願書締切】十一月三十日必着

◎詳しい資料請求は返信用切手二百円を同封して、〒一五〇　東京都渋谷区広尾四―二―二四　青年海外協力隊、または県庁総務部広報外事課移住外事係へ。

15日に交通事故相談を実施

県主催による巡回交通事故相談が十一月十五日（月）午前十時から午後四時まで、一の宮町の県阿蘇事務所で行われます。

相談を受けられる方は、交通事故証明書、医師の診断書、その他の関係書類をお持ちになってお出かけください。

源泉徴収の税納期に特例

給与などから源泉徴収した所得税は、毎月、徴収義務者が納付することになっていますが、従業員が常時十人未満の事業所では、一定の手続をすれば、年二回で済ませることができます。税務署の窓口に書類がありますので、この特例制度をぜひご利用ください。

あなたの職場に国の退職金制を

中小企業に働く人たちの老後の安定を図る国の退職金共済制度の活用をおすすめします。

この制度は中小企業にも国の援助で大企業なみの魅力ある退職金が支給できるようにとつくられたものです。この制度を利用しますと、毎月わずかな掛金で将来多額の退職金が支給でき安心です。また、従業員も有利な退職金が確実にもらえる期待があるので、安心して仕事に打ち込め、定着率がよくなります。

この制度は毎月掛金をお近くの金融機関に払い込んでおくだけであとは資金の管理、退職金の支給まで、すべて中小企業退職金共済事業団が責任をもって処理してくれますので、企業は事務の手間が省けます。そのうえ毎月の掛金は全額免税扱いの特典があり、企業の負担は軽くて済みます。

この制度についてのくわしいことは、〒862熊本県商工労働水産部労政課までお尋ねください。

お嫁さんにいいな

上色見前原
後藤みつよさん（22）

【趣味】旅行・料理
＜休暇村勤務＞

河内町が町章公募

飽託郡河内町は合併二十周年を記念して町章を公募しています。

▽**資格**　県内居住者（同町出身者は県内外を問わず）▽**締め切り**　十一月二十日▽**応募方法**❶未発表に限る❷図案は官製はがきに直径八㌢程度の大きさで、下方に簡単な説明を付記する▽**送付先**　同町総務課（応募者は年齢、職業、住所、氏名必記）▽**発表**　十二月十五日▽**賞金**　特選一点・五万円、入選三点・一万円▽**審査**　同町定審査委員会

みなし法人課税選択の届出

「みなし法人課税」というのは、個人経営の事業主についても、法人の課税方法に似た方法で所得税を計算しようというものです。

つまり、個人経営の事業主も、法人と同じように報酬を受取ることができ、この報酬額は必要経費に算入され、更に、給与所得控除も受けられるというわけです。

また、みなし法人所得（事業主報酬額を除いた利益）については、法人税と同様の比例税率によって税額が計算されますので、みなし法人所得が大きく、かつ、事業主報酬が適度である場合には大変有利になります。

この「みなし法人課税」を利用できる方は、現在青色申告をしている方か、来年から青色申告をする予定の方です。

この「みなし法人課税制度」を来年から利用されたい方は、今年十二月末日までに届出を済ませてください。なお手続など詳しいことは、税務署又は税務相談室にお尋ねください。

県産業開発青年隊員を募集

熊本県では産業開発青年隊員を募集中です。

○修得科目　土木施工、測量、建設機械の運転、整備（一ヵ年間）

○応募の資格　十八歳から二十五歳までの独身で義務教育修了以上、高等学校卒業程度の人

○応募期間　十一月一日から来年一月三十一日までの三ヵ月間

○提出書類　①受験票②履歴書③健康診断書④学業成績証明書

※　詳細は菊池郡大津町大津　熊本県産業開発青年隊訓練所へ。

地域にとけ込む青年団活動

初の「青年祭」開く

演劇など披露

演劇を披露する高森町青年団

地域住民とのつながりを密接にし、心のふれあいを大切にしようと、高森町青年団（本田生一団長百三十人）は、さる十月二日高森中体育館で初の青年祭を開き、演劇、コント、舞踊などを披露して町民に喜ばれました。

同青年団は、昨年企画した統一劇場のミュージカル「ふるさと」が成功したことから団活動が盛り上がり、ことしは総会で団員自らが演劇に挑戦しようと決めました。

舞台装置から宣伝まですべて団員の手で消化。会場には工作物、手芸、生け花、絵画なども展示され、青年祭に色どりをそえました。

プログラムは第一部「レクリエーション」第二部「演芸」第三部抽せん会からなっており、とくに第二部の「演芸」は、町内八支部の団員がこの日に備えて、二週間ぶっ通しの猛げいこをやっただけに、どの出し物も堂に入った出来ばえ。上色見地区青年の舞踊を皮切りに、コント（野尻、草北）、寸劇（色見、高森）、郷土芸能「高千穂かぐら」（南在）、コーラス（草南）などが披露されました。

最後の九十分ものの演劇「一姫二太郎三かぼちゃ」は再び上色見地区青年の登場。"青春群像"をコミカルに描いたものでしたが、各人が役どころを適確につかみ、六百人の観客に感銘を与えました。

本田団長は「みなさんに青年団活動の活発さを知ってもらい成功でした。来年は内容、宣伝を十分に考え、ますます盛大になるようにしていきたい」と話していました。

甲斐有雄翁の頌徳碑が完成

尾下多々野地区

幕末時代の道標づくりの功労者故甲斐有雄翁の頌徳碑が尾下の多々野原公園に完成、このほど来賓地元住民など約百五十人が集まって除幕式が行われました。

甲斐有雄翁は文政十二年尾下の多々野生まれで、生涯を道標づくりに打ち込んだ人。

明治四十二年、八十一歳で死ぬまで、四十八年間に阿蘇郡はじめ上益城、鮑託、宮崎県西臼杵、大分県直入郡など全部で千九百基余りを建てました。

その間、慶応二年から明治十九年まで藩、県庁より奇特の人として数回にわたって表彰され、昭和三十三年には県近代文化功労者に選ばれました。

さきに津留地区にある顕彰記念碑が復元されたのを機会に、尾下地区でも、頌徳記念碑の話が具体化、碑建設期成会を発足させて寄付を募りました。完成した碑は高さ約三㍍（台座とも）。総工費二十二万五千円。碑石は「頌徳碑甲斐有雄君之碑」と、刻んでありました。

鮮の力放 ＞5＜

先月号では農民や町人のしずめ石としてエタ、非人の身分がつくられたことを述べました。

ところで、エタにされた者は親子代々抜け出すことが許されませんでした。エタの下には非人がおかれましたが、非人は「足洗い」ができて、農工商の身分に戻ることができます。このあたりも実に巧妙に仕組まれています。

エタは農工商からさげすまれながら「自分たちは非人より上だ」と自らなぐさめ、非人は「自分はエタと違って、いつでももとに戻れる」といって自己満足します。「上みて暮らすな下みて暮らせ」「自分たちも楽ではないが、下の者に比べると、自分はまだましな方だ」—と、上は下級武士から下は賤民に至るまで、あきらめとも満足ともつかぬ複雑な、しかも巧みな方法で民衆の心の均衡をとることに成功したのです。まさに支配者の思うつぼだったわけです。

しかし、幕府の一方的な都合だけで、つくられた近世の賤民制度が、幕藩政治はおろか、明治以後の資本主義社会になっても、民衆統治のてだてとして残され、利用されてきたことは見過せない事実です。

しかも、士農工商の身分差別がなくなった今日、なお私たちの隣人が封建遺制に苦しみ、あるときは私たち自身が当時の農民と同じように部落の人々を差別していることに思いをよせる必要があります。差別はないといいながら、根強く生き続けているのです。

（つづく）

高森中　狭間武雄

高森の歴史散歩 ◁4▷

教育長　今村俊男

菅山の古文書

農民への圧政が明確

蘇陽町、高千穂町の境界に接する大字菅山は、水堪、菅山、水迫、下尾野、栃原、戸ノ下などの部落がある。

菅山は日子八井耳命が菅の葉を取り、みそぎをされたところと伝えられている。山紫水明、育々たる森林に囲まれた迫田は地味肥沃で、一面の稲田が青あろしになびいている。夏の一日、文化財保護委員の岩下智治氏と菅山の遠山宗雄さん宅を訪れた。

菅山は遠山姓が多い。遠山といえば、講談やテレビでおなじみの遠山の金さんこと、北町奉行金四郎景元の名奉行を思い出す。遠山氏の遠祖は藤原鎌足である。同家には家系譜のほか、多くの貴重な古文書が残っている。藩政時代に同家は岩神村の庄屋や頭百姓をつとめた。そのため、郡代からの差紙や御口達書写など保存され、往時の農民生活や、農民に対する細川藩の政策が判然とする。また系譜によれば、平家の一族、遠州浜松の城主、遠山伊勢守時行、天文十九年四月、この地に来たりとあり、娘萬字姫の墓も残っている。

平家の落人といえば五家荘を思い出すが、源平の戦いに敗れた平氏ではない。天文年間は戦国時代天文十九年は一五五〇年（今から四百二十六年前）で、平氏の一族である。

古文書の中に、明治十三年三月二十三日遠山軍四郎氏の「鹿児島賊徒御征討之際尽力候に付為其金拾円下賜候事、熊本県」の賞状もある。賊徒とは西郷軍のことで、西南役では当地も兵火にかかり、西郷軍は倉岡から延岡へと退却した。その記念碑も坂本に建っている。古文書の中に、御法度筋積書、教諭書がある。地方末端の行政当事者としての苦労、および当時の農民生活への規制、一読、質素、倹約など良い点もあるが、農民が圧政にいかに苦しんだかが想像される。一例を挙げると——。

一、御年貢皆級不致間米穀売買いたす間敷事。

一、何事によらず徒黨いたし候事は堅き御禁制なり、まして私の恨により申合を家宅を打ちこわち狼籍の仕わざ有之ものは、重き御咎え仰付筈の事。

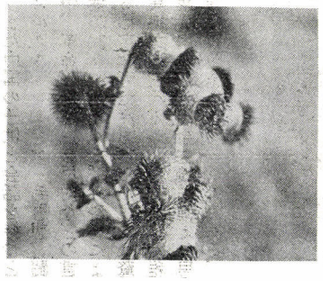
一、男女共衣類は不及申襟、帯、笠、羽織、懐中之物少したりとも地布、木綿を用い、髪の道具木櫛角、鯨のこうがい之外並踏物にぬり下駄、雪駄の類相用いまじく、勿論御免無之者共、脇差、菅笠等堅用申すまじき事。

一、婚礼之儀勝手よろしく、筋目之有者は白木長持一つ、其外は半櫃（びつ）または皮櫃一つ櫛箱に至る迄、春慶塗は不ッ苦、且婚礼之節若者共打寄り樽入致すまじく、嫁入、聟入之仟身近き親類並両隣五人組内まで披露いたし、さつと盃ばかりにて相済し可申事　（以下略）

【おわび】前号本多嘉休氏とあるは本田と白川県の辞令にあり訂正します。なお、同じく前号末尾に三竹とあるのは三武の誤りで、阿蘇南部校を明治三十四年に卒業した同級生の逸材、二子石武喜、古沢好武、今村武彦の三氏（いずれも故人）である。いつも首席を争った仲間として、同校出身の古老の語り草となっている。

郷土の博物誌 ⑭

ハバヤマボクチ



ススキの葉が霜枯れ始める晩秋の野に陽が落ちて、暮れなずむ寒々とした茜（あかね）の空をバックに、物思いに沈んだようにうつ向いたこの花の姿ほど、哀愁に満ちたものはない。

昼間はそうまで思わなかったが、こうして夜が近ずくと、何か冬の匂いといったものが感じられる。その匂いは風の通う丘の上より、森陰や盆地状の畑のあたりにたたずんでいるもやに溶けて、朝まで静かに残っているようだ。

動物たちはいち早く、この匂いを知っているのか、さっき刈干しの小積みが、長い影を引いた丘の陰で会ったキツネは、もう冬毛の装いを終わっているようだった。

やがて木枯しが吹き、雪やあられが訪れることだろう。そうなると、このハバヤマボクチの茎は一層固く木質化し、下草のすべてがすっかり朽ち果てても、ひとり超然と孤高を保ち立ち続けている。

私は花の盛りのころより、かえってこのころの姿に、なぜか強く心を引かれる。それは晩秋の野の悲愁を一段とかきたてる点景として、なくてはならないもののようにさえ思われるからだろうか。

花のつき方はアザミに似ていて同じキク科であるが、こんなたくさんあるわりには余り名前は知られていないし、また野尻、草部では山ゴボウとか、弓取り坊主などと呼ばれている。

高森町文化財保護委員　佐藤武之

農業者年金加入のすすめ

農業者年金とは農業者の老後の幸せと、生活の安定を図るために公務員や会社員の恩給、年金制度に倣って、国が法律を定めて創設された公的年金制度です。

該当農家は当然加入として経営主、また任意加入として後継者の二人が、原則的に認められています。今回はこの当然加入について説明してみましょう。

当然加入とは、いわゆる義務的加入の意味で、資格のある人は全員加入しなければならないことになっています。農業者年金法は四十六年一月一日から施行されたため、大正五年一月二日以降に生まれた人でないと加入できません。

またこの年金が二十年年金制度（二十年間保険料を納めて給付が受けられる）であるため、別表Ⅰに示すように、昭和十年一月一日までに生まれた人に対しては特例で、被保険者期間の短縮制度が設けられています。

次に被保険者となるためには❶大正五年一月二日以降に生まれた人❷国民年金の加入者であること❸自作地および小作地合わせて五十ｱｰﾙ以上の農業経営主であること―が必要です。ここで注意しなければならないのは、すでに時効の成立によって、資格要件が消滅している人や、加入することができても、保険料収納の消滅時効との関連で、年金給付に結びつかない人があるということです。

このようなことから、せっかく国が法律を定めて、農業者が他の産業就業者の退職金や恩給に見合う制度を設けたのですから、加入者は保険料を納め、当然加入資格者は今すぐ農業委員会、もしくは農協の窓口にご相談ください。

＜別表Ⅰ＞　被保険者短縮期間の特例

生年月日	保険料納付期間
大正5年1月2日～大正10年1月1日	5年
〃 10. 1. 2 ～ 〃 11. 1. 1	6
〃 11. 1. 2 ～ 〃 12. 1. 1	7
〃 12. 1. 2 ～ 〃 13. 1. 1	8
〃 13. 1. 2 ～ 〃 14. 1. 1	9
〃 14. 1. 2 ～ 〃 15. 1. 1	10
〃 15. 1. 2 ～昭和2. 1. 1	11
昭和2. 1. 2 ～ 〃 3. 1. 1	12
〃 3. 1. 2 ～ 〃 4. 1. 1	13
〃 4. 1. 2 ～ 〃 5. 1. 1	14
〃 5. 1. 2 ～ 〃 6. 1. 1	15
〃 6. 1. 2 ～ 〃 7. 1. 1	16
〃 7. 1. 2 ～ 〃 8. 1. 1	17
〃 8. 1. 2 ～ 〃 9. 1. 1	18
〃 9. 1. 2 ～ 〃 10. 1. 1	19
〃 10. 1. 2以降生まれの者	20

（注）加入資格要件を備えている者であっても、加入する期間が20年に満たない者は原則的に除外されるが制度創設時の特例として上記に揚げる者について右欄に揚げる年数に短縮されている。

＜別表Ⅱ＞　当然加入資格者が加入したときの保険料期限

生年月日	大正7年以前生まれ	大正8年生まれ 納付期限	大正8年生まれ 最低納付開始月	大正9年～昭和10年生まれ 納付期限	大正9年～昭和10年生まれ 最低納付開始月
1月2日～2月1日	年金納付に結びつかない			昭和52年4月末日	昭和50年1月
2月2日～3月1日					2月
3月2日～4月1日					3月
4月2日～5月1日				昭和52年7月末日	4月
5月2日～6月1日					5月
6月2日～7月1日					6月
7月2日～8月1日		昭和51年10月末日	昭和49年7月	昭和52年10月末日	7月
8月2日～9月1日			8月		8月
9月2日～10月1日			9月		9月
10月2日～11月1日		昭和52年1月末日	10月	昭和53年1月末日	10月
11月2日～12月1日			11月		11月
12月2日～1月1日			12月		12月

（注）1.　当然加入資格者は「納付期限欄」日までに保険料の納付が出来るように加入すること
2.　当然加入の資格要件を具えた日（資格取得年月日）が各生年月日ごとに「最低納付開始月」欄の月以前の月であること。

高森の観光拠点に

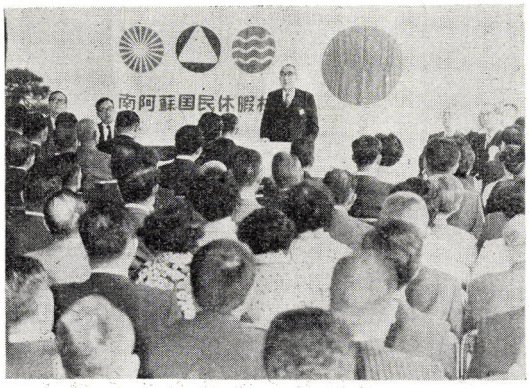
南阿蘇国民休暇村

落成祝い開所式

すでに仮オープンした南阿蘇国民休暇村の開所式が、十月十五日午前十一時から同休暇村の本館宿舎で、関係者二百人が出席して盛大に開かれました。

同休暇村は観光行政の重点事業として、四十六年から県と本町が環境庁や財団法人国民休暇村協会に働きかけ草河原に誘致したもので、九州では志賀島（福岡）、指宿（鹿児島）、雲仙（長崎）に次いで四番目。原野のスロープを利用した六十九・六㌶の敷地に、総工費四億九千万円を投じて完成しました。阿蘇外輪山をバックに宿舎が建ち、南郷谷と阿蘇五岳が一望できる景勝地。オープン以来、一か月で約三千五百人が利用、まずまずの滑り出しを見せています。

開所式は二階の大会議室で行われ、葛西国民休暇村協会長のあいさつ、城戸環境庁事務次官、沢田県知事らの祝辞があり、このあと岩下高森町長が「裏阿蘇的な存在の高森町に、ようやく観光拠点ができあがった。これまでご尽力いただいた関係者の皆様に心からお礼を申し上げます」と、お祝いの言葉を述べ、祝宴に移りました。

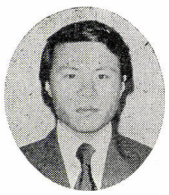


南阿蘇国民休暇村の開所式

道徳、思想教育が徹底

日中友好「九州青年の船」に参加して

菅山　遠山雄司（25）



五十一年度日中友好「九州青年の船」の団員に選ばれ、中国での参観・交流、船内研修など体験して、このほど帰国した本町菅山の遠山雄司さん(二五)が、十五日間にわたる上海、旅大、瀋陽などで知り得えた中国事情を次のようにリポートされました。

二週間のあわただしい旅程の中にも、私の脳裏に鮮明に焼きついた中国、それは国民一人一人が真の社会主義国家建設という偉大な目標の下に、一致団結し、着実な発展を遂げている事実である。

「独立自主」「自立更生」「刻苦奮闘」の精神を貫徹、国家建設の主人公たる労働者の姿は誇り高く、どの顔も自信に満ち、ヒスイのごとく、光り輝く瞳を持っていた。その事実を自分の膚で感じたとき「人間はたして自分の意志を捨て国家のために働くことが可能か」「私利私欲のない労働に、はたして、意欲が生まれるのか」など、訪問前に少なからず偏見を混えて持っていた疑問は、一瞬にして広大な中国大地の露と消え失せた。そして、それが羨望の念へと移行したのも、また必然である。

紅少兵の軍事訓練

「自分さえよければ」という日本的風潮。他方、人民の貢献がもたらす国家の繁栄は、大衆の平等な幸福を導くという中国的観念、それは根本において、相違は明確だ。しかし、両者とも人民の幸福追求の手段であり、互いを真に理解することはできなくても、相手の立場を尊重し、信頼することは可能であるはずだ。

いま、われわれ日本人が再考すべきは、履き違えたエゴの自由主義的イデオロギーをいかにすれば正常な姿に復元できるかということではないか。しかも今や正に、その端緒に達している。

ところで、八億もの大衆を大挙一括、団結させ、国民すべての繁栄と国家の飛躍的発展を促しているものは一体何であったのか。無論それがマルクス・レーニン、毛沢東思想、および中国共産党の指導であろうことは論を待たない。そのことは、我々が訪問した幾多の学校、工場、あるいは人民公社などで、常に彼らから聞かされたものである。

次に中国教育の特性について述べてみよう。

第一に道徳教育、および思想教育の徹底ということ。幼稚園、小中学校訪問に当って、まず私の関心を引いたもの、それは絶やさぬ笑顔の中にも、実に節度ある学童の品行である。何事にも物おじしなく臨機応変な風格、派手さのない積極的な態度。人なつっこい、それでいて自信と誇りのある品格。これらを単に民族的性格の相違として見過すには、その要因において余りあるものがある。

また中国の子供と会話を持つとマルクス・レーニン、毛思想、闘争、革命、覇権主義反対などの言葉が次々に出てくる。教科書による活字教育だけを学んだ我々は驚異感さえ受けるが、中国では幼稚園時代から、社会主義に備えた思想教育が施されているのである。

第二に「理論と実践の結合」を通して、労働の価値、尊さを体得するという理想的な教育理念。つまり、学校は工場、農園を所有し生徒は実際に町工場、人民公社に赴き、労働の苦しみと戦いながら社会奉仕の精神を真の知識として得るのである。これ程実質社会と迎合、合致した教育はないはずである。

ちなみに中国教育の方針を尋ねると「知育」「体育」であるという。「農業を基礎として、工業を導き手とする」の理念が示すとおり、中国では国家繁栄の基盤を農業に置いている。農業の進展なくして国家の存在なしとするのであり、総人口八億中六億が就業者という事実は、そのことを顕著に物語っている。

彼らの農業に対する意気込みは我々の想像を絶する。ただ技術面および近代化の点で、先進国に遅れを見るのは事実であるが、〝農業は大祭に学ぶ〟をスローガンに「一致団結」「刻苦奮闘」の精神で、農業生産の増大を目指す彼らが、いまに飛躍的な向上を遂げるのもまた明白である。

発展途上国として、物質的に豊かとはいえない彼らの生活である。しかし彼らは我々日本人の失なったものを、いまなお持っている。それは素朴な人間らしい心と明確な目標である。精神的な豊さを持つ彼らは、それだけでも我々より幸福といえはしないだろうか。

彼らが偉大な指導者と仰いだ毛主席を失ったいま、衷心より追悼の意を表するとともに、全人民がその悲しみを力に変え、人民に奉仕する思想を全うし、その進撃な情熱が永遠に続くことを祈って止まない。

最後に不幸な歴史を、また価値観と体制の相違を超越して、誠心誠意、我々を熱烈に歓迎してくれたすべての中国人民に、心から感謝の意を表するものである。